



越谷流山線バイパス事業 事業説明会

平成30年 6月 3日
千葉県

1

本日の説明内容



1. 事業の目的・方針
2. 事業手法（有料道路事業）
3. 沿道環境予測
4. その他

2

1. 事業の目的・方針



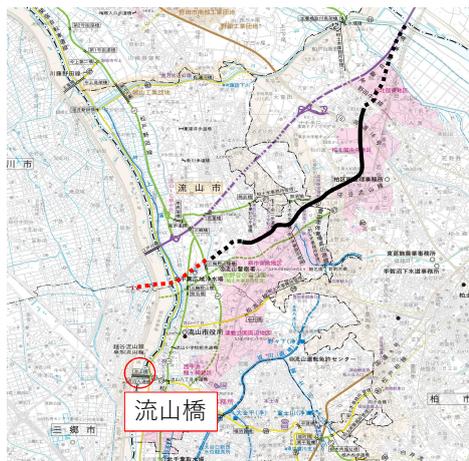
(1) 目的

- ①流山橋周辺の交通渋滞の緩和
- ②つくばEX沿線開発に伴う新たな幹線ネットワークの強化
- ③江戸川による地域分断への対応

1. 事業の目的・方針



(2) 方針



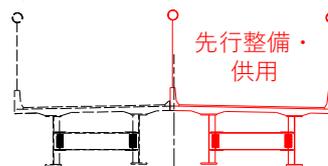
県内の都市軸道路は
今後整備が進む見込み



新しい橋梁の整備効果
の早期発現が必要



先行2車線及び有料事業
が有効な整備手法

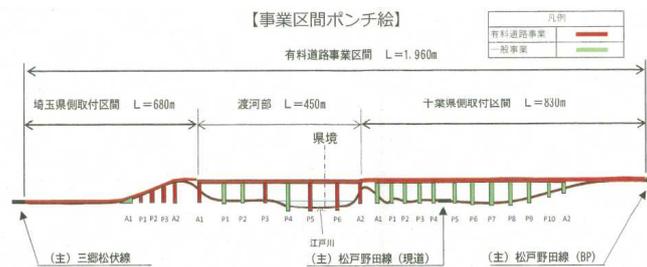


2. 事業手法（有料道路事業）



(1) 概要

- ・ 事業区間 L=1,960m
埼玉県三郷市前間～千葉県流山市三輪野山
- ・ 2車線先行整備
- ・ 計画交通量 12,700台/日



5

2. 事業手法（有料道路事業）



(2) 有料道路事業の導入

- ・ 総事業費：約170億円
一般事業費約86億円、有料事業費約84億円
- ・ 有料道路事業期間（予定）
：平成30年度～平成34年度
平成35年度の開通目標
- ・ 通行料金：普通車150円
- ・ 料金徴取期間：30年
- ・ 有料道路事業者：埼玉県道路公社

※千葉県圏域は千葉県が埼玉県道路公社から受託して施工（渡河部上部工を除く）

6

2. 事業手法（有料道路事業）



(3)事業の進捗状況

- ・用地取得率（H30.3月末現在）
：84%

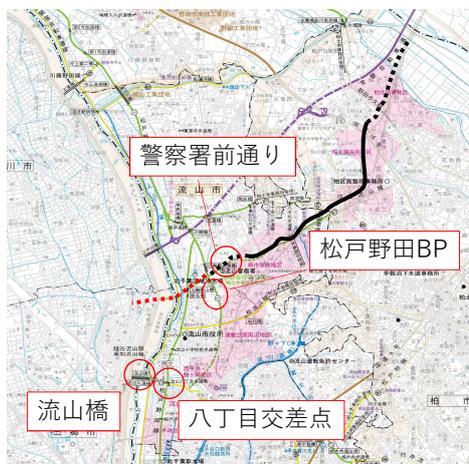
(4)平成30年度工事予定

- ：橋梁下部工、占用物件移設
用地買収等

2. 事業手法（有料道路事業）



(6)将来交通量の推計



1日当り 台数	現況交通	整備なし H35推計	整備あり H35推計
松戸野田 BP	2.0万台	3.6万台	4.3万台
警察署前 通り	1.7万台	2.1万台	2.3万台
流山橋	2.9万台	3.2万台	2.8万台
八丁目 交差点	2.3万台	2.4万台	2.1万台

流山橋: 1割強減少
 八丁目交差点: 1割減少

3. 沿道環境予測



予測評価項目：

【大気質（二酸化窒素・浮遊粒子状物質）】

【騒音】

【振動】

【日照阻害】

三郷流山道路の整備によって特に周辺環境への影響が考えられる項目として選定しています。

3. 沿道環境予測

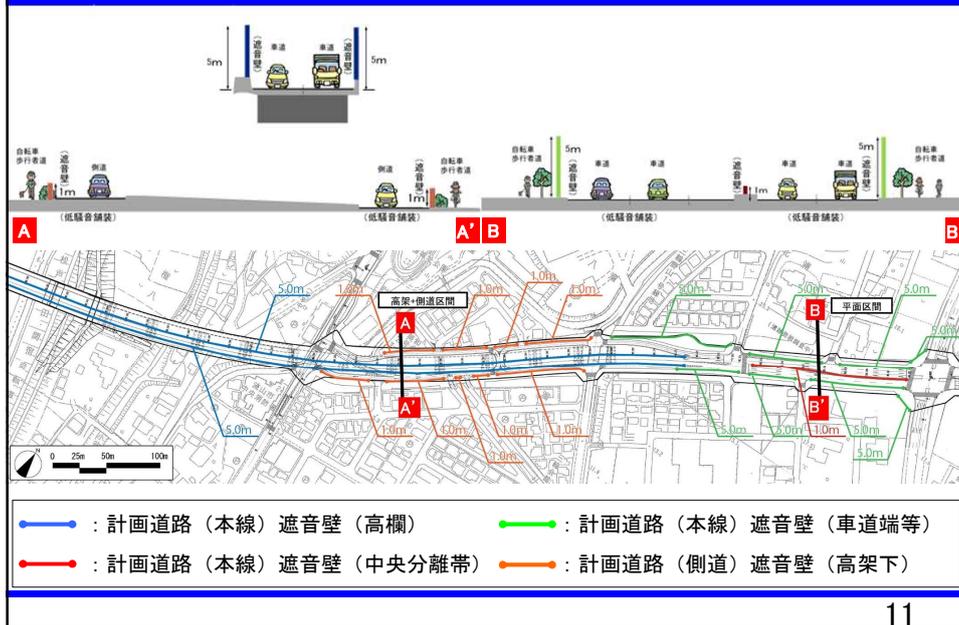


○ 大気質・振動の予測地点

● 騒音の予測地点

--- 日照阻害の予測断面

3. 沿道環境予測



3. 沿道環境予測



(1) 大気質

二酸化窒素（単位：ppm）

- ・ 大気汚染防止法で規制・監視の対象となっています。
- ・ 単位【ppm】は濃度の単位で、100万分の1を1 ppmと表示します。

3. 沿道環境予測



(1) 大気質 ≪ 二酸化窒素 (単位:ppm) ≫

予測評価地点	H22年度 現況値	予測値	環境基準 との整合	千葉県 環境目標 との整合	環境保全目標
A 児童公園向かい	0.034	0.033	○	○	【環境基準】 日平均値が0.04ppmから0.06ppmの範囲内、または、それ以下 【千葉県環境目標】 日平均値が0.04ppm以下
B 市道221号線付近	0.034	0.033	○	○	
C 三井住宅入口		0.033	○	○	
D 松戸野田ガス付近	0.036	0.034	○	○	

3. 沿道環境予測



(1) 大気質

浮遊粒子状物質 (単位: mg/m³)

- ・ 大気中に存在する粒子状物質のうち、粒子の直径が10 μ m (0.01mm) 以下の非常に細かな粒子と定義されており、すぐには落下せずに大気中に浮遊しています。
- ・ 大気汚染防止法で規制・監視の対象となっています。
- ・ 単位【mg/m³】は単位体積中の物質の重さを表し、空気1m³ (1,000L) 中のmgに相当します。

3. 沿道環境予測



(1) 大気質 ≪浮遊粒子状物質 (単位:mg/m³) ≫

予測評価地点	H22年度 現況値	予測値	環境基準 との整合	環境基準
A 児童公園向かい	0.052	0.047	○	日平均値が 0.10mg/m ³ 以下 であること。
B 市道221号線付近	0.048	0.047	○	
C 三井住宅入口		0.047	○	
D 松戸野田ハイツ付近	0.049	0.047	○	

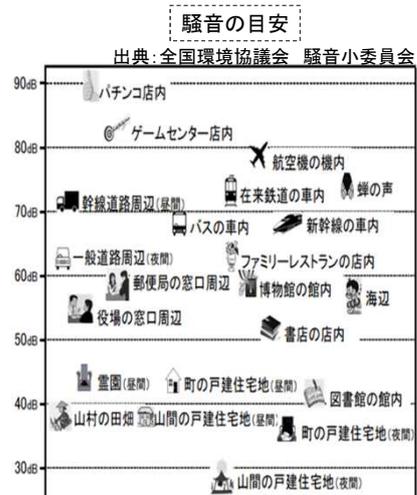
3. 沿道環境予測



(2) 騒音

騒音 (単位:デシベル)

- ・騒音は大小を【デシベル】で表します。
- ・数値が大きいくほど、大きな音を示します。



3. 沿道環境予測



(2) 騒音 (単位:デシベル)

予測評価地点	H22年度現況値		予測値		環境基準との整合	環境基準	
	昼間	夜間	昼間	夜間		昼間	夜間
No.1 江戸川堤防付近			52	52	○	65	60
No.2 消防署向かい	71	70	61	61	○	70	65
No.3 松戸野田線付近	69	67	60	60	○	70	65
No.4 児童公園向かい②	61	55	58	57	○	70	65
No.5 市道221号線付近	63	55	64	61	○	70	65
No.6 三井住宅向かい	62	56	51	50	○	70	65
No.7 三井住宅入口	60	53	44	43	○	70	65
No.8 松戸野田バス付近	62	59	59	58	○	70	65

※：時間区分 昼間:6時～22時、夜間:22時～翌日6時

3. 沿道環境予測



(3) 振動

振動 (単位:デシベル)

- ・ 振動は揺れの大小を表す【デシベル】で表します。
- ・ 数値が大きいほど、大きな揺れを示します。

振動の目安

出典:気象庁・環境省

階級	振動レベル 単位:dB	人間の感覚	屋内の状況
0	55以下	人は揺れを感じない。	
1	55~65	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。	
2	65~75	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。
3	75~85	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を感じる人もいる。	棚にある食器類が、音を立てることがある。
4	85~95	かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全を恐らうとする。眠っている人のほとんどが目覚めます。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類、本棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物が、倒れることがある。
5弱		多くの人が、身の安全を恐らうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、本棚の本の多くが落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。
5強	95~105	非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。瓦形によりドアが開かなくなることがある。

3. 沿道環境予測



(3) 振動 (単位:デシベル)

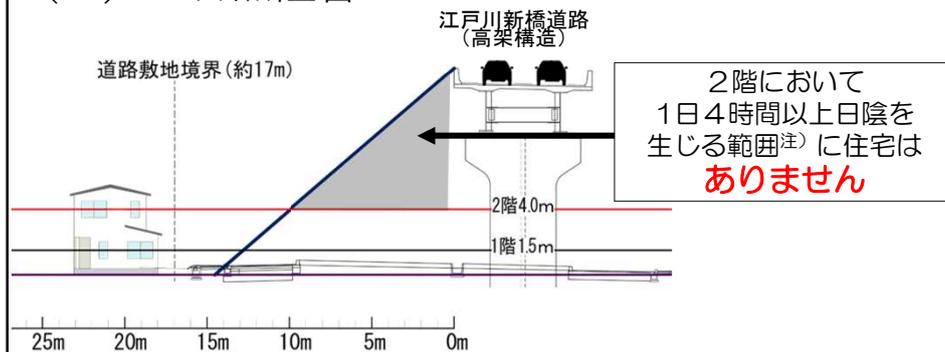
予測評価地点	時間区分	H22年度現況値	予測値	要請限度との整合	要請限度
A 児童公園向かい	昼間	41	49	○	65
	夜間	35	49		60
B 市道221号線付近	昼間	42	46	○	65
	夜間	32	44		60
C 三井住宅入口	昼間	45	49	○	65
	夜間	35	48		60
D 松戸野田パイス付近	昼間	50	53	○	65
	夜間	42	52		60

※予測値は、昼間:8時～19時、夜間:19時～翌日8時におけるそれぞれの最大値です。

3. 沿道環境予測



(4) 日照障害



注) 日照障害については、国による環境基準や保全目標が示されていませんが、例えば、真南に面する開口部では、「**居室2階で4時間以上の日陰を生じる場合**」に、暖房費や照明費の一部が補償されます。

4. その他



家屋調査

調査希望の意向確認をしております。

希望される方は、御連絡をお願いします。

0 4 7 - 3 6 4 - 5 1 4 3



本日の説明は以上です。
御清聴ありがとうございました。